

福岡市長賞

「私の命」をありがとう

福岡市立吉塚中学校 3年
吉村 凜

税金の働きやしくみについて時々、自分で考えたりすることがある。家族と一緒に食事する時など、私の母はよく「税金ってとてもありがたいものなのよ」と言っている。そんな時私は、「どうしてなのかな」「なぜありがたいものだろう」と疑問を持った。母から話を聞き、納得した。

私の家族は四人家族だ。働き者の父、いつも優しい母、頑張り屋の私、頭のいい双子の弟だけれど、他の家族とは違う大変な困難を抱えている。それは私が「骨形成不全症」という病気で車イスに乗っているからだ。私の病気というのは、もともと骨自体がもろくて欠けやすく、立つこともできないし、骨折をすることも多々ある。しかし骨折を防ぐために点滴を打っている。それ自体も本当ならば十何万位はするのだそう。それにプラス、いろいろな治療費が、かかるのだそうから全部合わせると、莫大な金額がかかる。だが、両親はいう「実際には、こんなにかかっていないのよ」と。そしたら一体、このお金はどこから出ているのだろうと思った。

答えは一つだ。国民の皆さまに支えてもらっている。国民が働いたお金を税金として納められた後、それらのお金が難病者への、支援にあてられている。私には「小児慢性特定疾病医療受給証」というものが、福岡県から渡される。これがあるおかげで、実際には私の病院代の、自己負担がゼロである。「なるほど、税金ってすごくありがたいし、とっても助かるものなのだな」と私は思った。国民が一生懸命働いて、納めた税金が、私みたいな難病者を救っている。だから私も大人になったら、しっかりと税金を納めよう。そして難病者を助けてあげよう。そう私は改めて全ての人への感謝の気持ちでいっぱいになった。そして「税金について」もう一つ勉強になったことがある。

それは、私の体の一部として、絶対に欠かすことのできない「車イス」である。これもまた、国民の税金に、助けてもらっている。私は以前、車イスの手続きに付添いとして、母といっしょに、市役所を訪れたことが、ある。「車イス」を、自分の体に合わせて「オーダーメイド」で、作るとなると、二〜三十万ぐらいかかり、驚くほど高額だ。しかし、障害者である私は、この額の一割ぐらいの値段で、新しい車イスができる。残りの九割は市役所が、負担してくれている。一体、そのお金というのは、どこから出ているのだろうか。

答えは一つだ。これも、皆さんの税金から出ている。市民の人々が、納めた税金が、私のような障害を抱えて生きている人達の、役に立っている。私は母親と共に、市役所について行き、このしくみを理解した。

税金についてしっかり理解できたので、私も社会人になったら税金をしっかり納めて、恩返しをしたいと思います。